



山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

平成18年度 山口県立大学学生アンケート結果

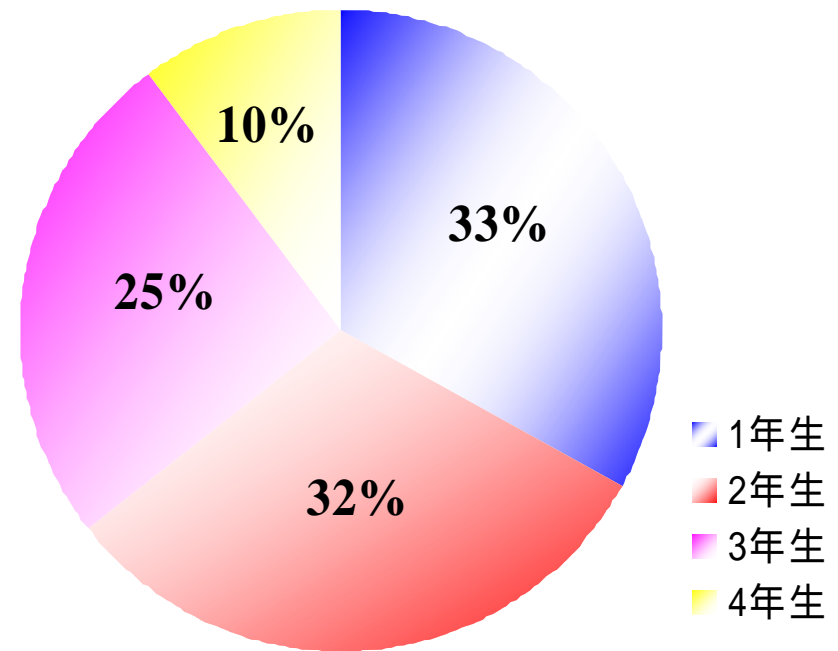


平成18年度学生アンケート結果

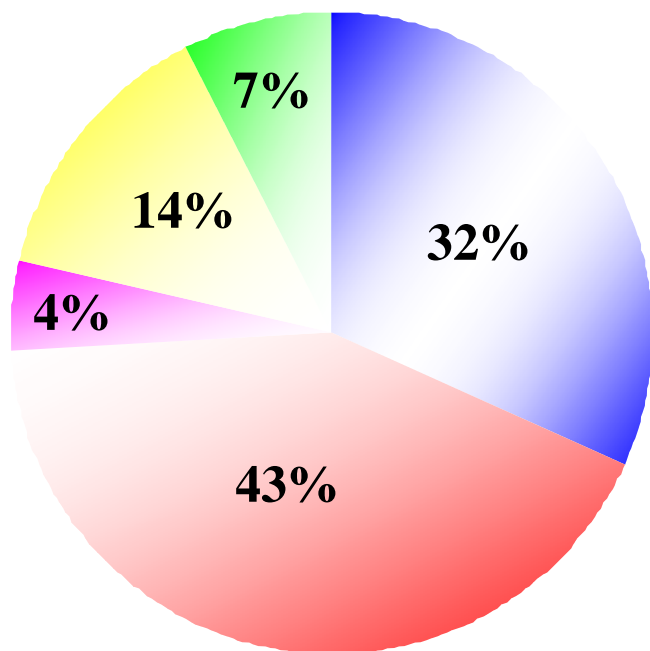
平成18年度学生アンケート - 回答率

回答者数 679名 51.3%

1年生	224名	69.1%
2年生	214名	68.8%
3年生	171名	51.3%
4年生	70名	19.1%



通学手段は



- 徒歩
- 自転車
- バイク
- 自動車
- バス・JR

通学距離

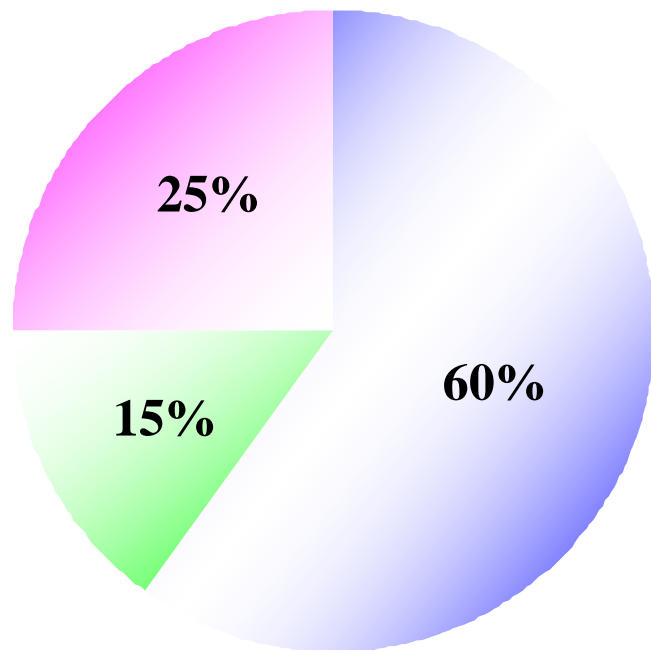
1) 3km未満	510名	75.1%
2) 3～20km	83名	12.2%
3) 20～50km	55名	8.1%
4) 50km以上	31名	4.6%

駐車場の改善を要望する学生57%

学生用として約150～200台分の駐車場の整備の必要性が推測される。



学生のアルバイト



■ 定期的に行っている

■ 不定期的に行っている

■ していない

週平均のアルバイト従事時間

1) 10時間未満	417名	61.4%
2) 10～20時間	211名	31.1%
3) 20～30時間	40名	5.9%
4) 30時間以上	11名	1.6%

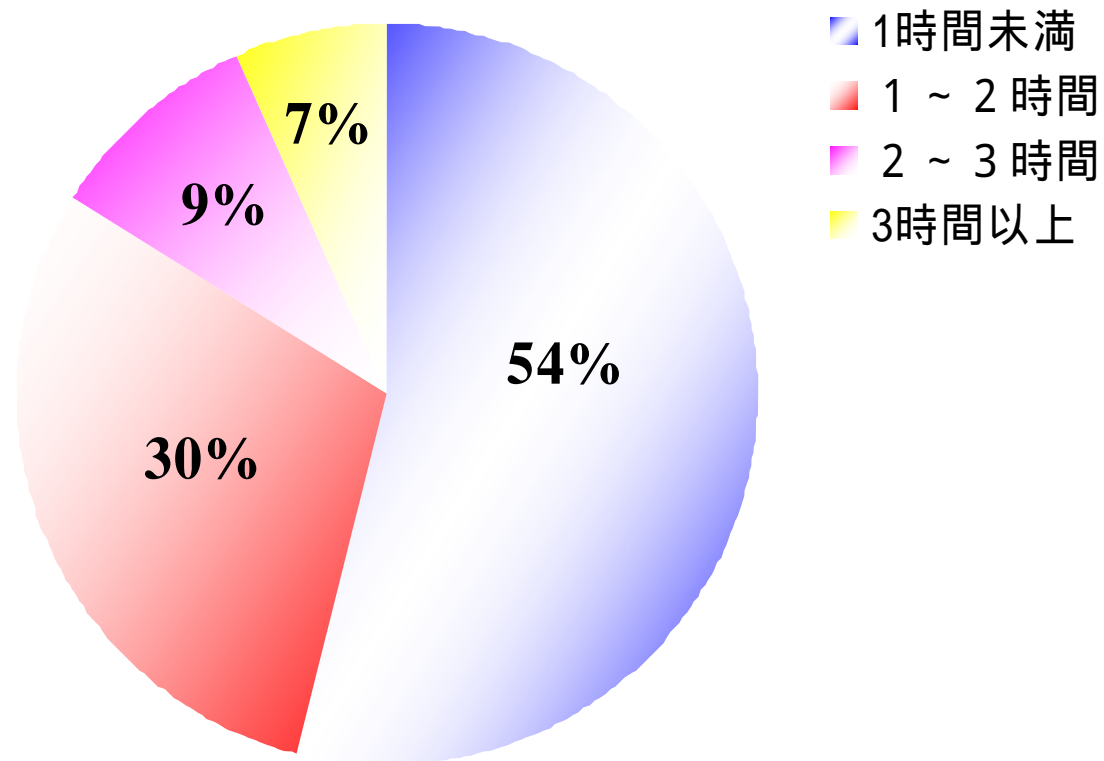
アルバイトをする目的

1) 学費	148名	21.8%
2) 生活費	226名	33.3%
3) 遊興費	237名	34.9%
4) 携帯電話等の通信費	3名	0.4%
5) その他	65名	9.6%



授業外学習時間

1時間未満が圧倒的に多い。
2時間未満は全体の84%。



授業外の学習場所は主に「自宅」が82.5%であった。



悩み事の相談相手 - 心の健康

現在、悩み事や不安を抱える学生は81.7%。

チューターに相談したことがない学生は66.6%。理由としては「今まで必要がなかったから」が42.7%。

大学の相談対応の体制については61.3%が「よくわからない」。

1) 家族	168名	24.7%
2) 友人・先輩	394名	58.0%
3) チューター	3名	0.4%
4) その他の教員	1名	0.1%
5) 学生相談室	3名	0.4%
6) 保健室	5名	0.7%
7) その他	18名	2.7%
8) 相談する相手はいない	9名	1.3%
9) 相談しない	78名	11.5%

Point !

チューター・学生相談室・保健室等の役割分担を明確にして、学生に周知させることが必要。



からだの健康管理 - からだの健康

健康管理の必要性を感じている学生は85.1%

健康管理のために必要と思うテーマは

1) 身体のこと	192名	28.3%
2) 心のこと	106名	15.6%
3) 性に関すること	13名	1.9%
4) 食生活に関すること	246名	36.2%
5) 運動に関すること	110名	16.2%
6) その他	12名	1.8%

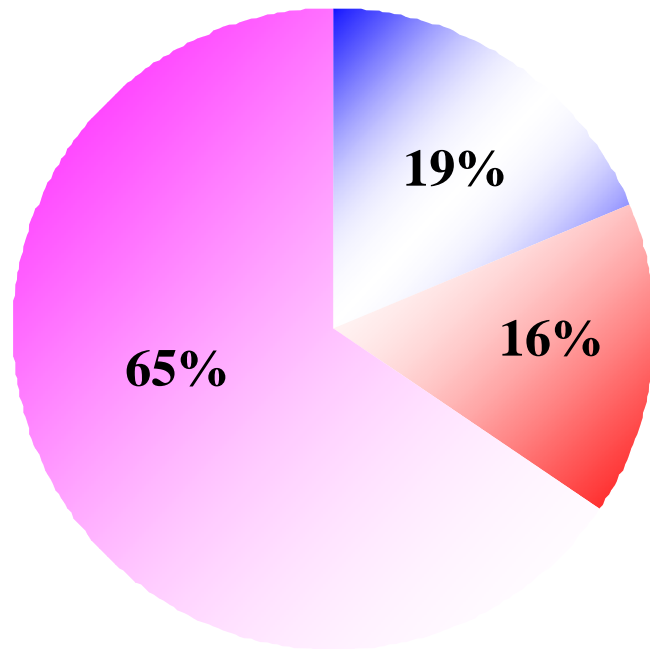
企画があれば参加してみたいイベント

1) 講演会	143名	21.1%
2) 少人数でのセミナー	50名	7.4%
3) 調理教室	139名	20.5%
4) エアロビなどのスポーツ教室	208名	30.6%
5) 体力測定	139名	20.5%



学生食堂について

食堂の利用状況



- ほぼ毎日
- 週2~3回
- 利用しない

何を改善する必要があるか

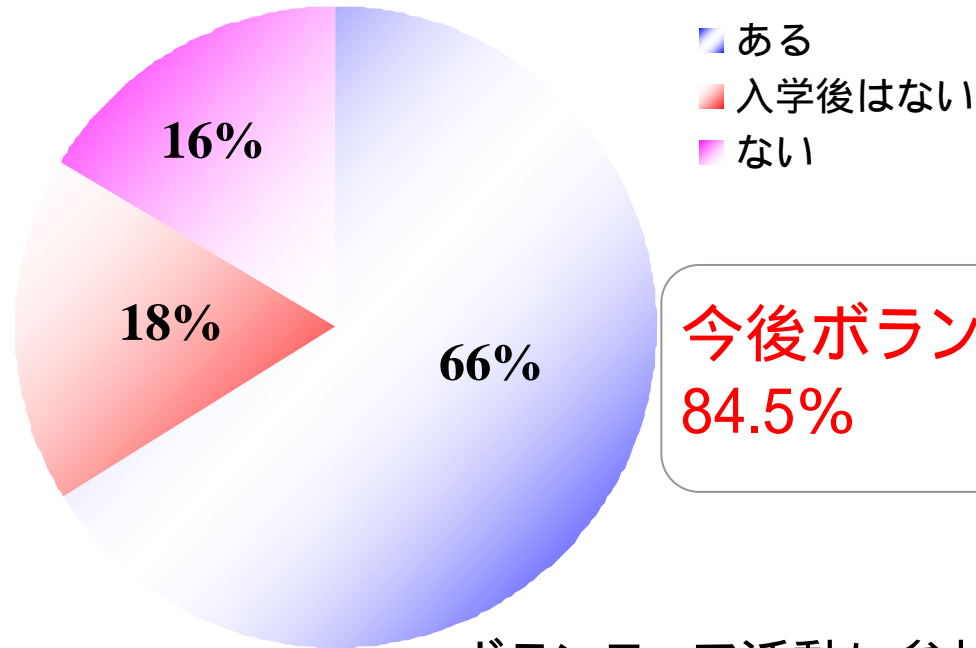
1) メニュー	346名	51.0%
2) 価格	60名	8.8%
3) 施設	114名	16.8%
4) サービス	18名	2.7%
5) その他	71名	10.5%
6) 改善の必要はない	71名	10.5%

新たに喫茶室を要望する学生81.9%



ボランティア活動について

ボランティア活動の経験



今後ボランティア活動してみたい学生は
84.5%

ボランティア活動に参加しやすい条件

- | | | |
|--------------------|------|-------|
| 1) 情報提供の充実 | 368名 | 54.2% |
| 2) 連絡調整・相談窓口の設置 | 101名 | 14.9% |
| 3) 活動中の事故に対する補償の整備 | 12名 | 1.8% |
| 4) 実施場所への交通手段の確保 | 198名 | 29.2% |

